(2019.4改正)

**＜別紙１＞**

**第三者評価結果報告書**

①第三者評価機関名

|  |
| --- |
| 株式会社R-CORPORATION |

②施設・事業所情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 名称：特別養護老人ホーム　ゆうあいの郷 | | 種別：特別養護老人ホーム | |
| 代表者氏名：君嶋　眞理子 | | 定員（利用人数）：110名 | |
| 所在地：〒246-0038  横浜市瀬谷区宮沢3-25-1 | | | |
| TEL：045-303-8080 | | ホームページ：https://shonanyuuaikai.or.jp/ | |
| 【施設・事業所の概要】 | | | |
| 開設年月日：1991年03月19日 | | | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人　湘南遊愛会 | | | |
| 職員数 | 常勤職員：41名 | | 非常勤職員：44名 |
| 専門職員 | （専門職の名称）： 名 | | 看護師：7名 |
| 介護福祉士：16名 | | 管理栄養士：1名 |
| 介護支援専門員：2名 | | 鍼灸師：1名 |
| 施設・設備の概要 | （居室数） | | （設備等） |
| 一人用居室6室 | | 事務所 |
| 二人用居室12室 | | 当直室 |
| 四人用居室20室 | | 応接室 |
|  | | 厨房 |
|  | | 浴室 |
|  | | 洗面室 |
|  | | 会議室 |
|  | | 機能訓練室 |
|  | | 食堂 |
|  | | プレイルーム |
|  | | 汚物処理室 |
|  | | ロッカー室 |
|  | | 医務室 |
|  | | 談話コーナー |

③理念・基本方針

|  |
| --- |
| ＜理念＞  １．「心に遊びの気持ちを」（｢ゆとり｣ある心）  人は誰でも幸せな生活を送る権利をもっています。私たちは、あなたが心に「ゆとり」を持てる生活のお手伝いをし、安らぎに満ちた人生を歩んでいただきたいと思っております。  ２．「心に愛の気持ちを」（「ゆるす」気持ち）  「ゆるす」とは、心に愛を持ち、相手を慈しむこと。私たちは、あなたに愛のある生活を送ってもらうお手伝いをし、慈愛に満ちた人生を歩んでいただきたいと思っております。  ３．「心に会話の気持ちを」（「ほほえみ」ある生活）  「ほほえみ」を絶やさないことは、人が幸せになるカギです。会話をすることで、心のふれあいが出来ます。私たちは、優しさの通う会話のある人生を願っております。  ＜運営方針＞  １．個別ケアの推進  利用者ひとりひとりの状況に合わせたケアプランを策定し、個別ケアを展開します。  ２． 楽しみのある施設づくり  利用者の日常生活を豊かにするのは当然ですが、職員にとっても生きがいのある施設作りを目指します。  ３．地域住民との共存  地域住民との協力に基づいた施設運営を行います。また、町会と防災協定等を結び、災害時への対応も行うようにいたします。  4．法令を遵守した運営  公共性が高く、尚且つ人の命を預かっていることを認識し、各種の法令を遵守した運営をいたします。  ＜特別養護老人ホームゆうあいの郷の特徴的な取り組み＞  季節感のある行事を開催したり、折り紙、塗り絵、書道、ゲームなどのレクレーション活動やご利用者の趣味嗜好にあったフリープランを実施しています。 |

④施設・事業所の特徴的な取組

|  |
| --- |
| 【施設・事業所の特徴的な取り組み】  ●特別養護老人ホームゆうあいの郷は、社会福祉法人湘南遊愛会（以下、法人という）の経営です。法人は平成3年に特別養護老人ホームゆうあいの郷（以下、ゆうあいの郷という）の設立をスタートに、平成８年に「横浜市阿久和地域ケアプラザ」の委託を請け、平成14年に軽費老人ホーム「ケアハウスゆうあい」（横浜市戸塚区）を開設し、平成24年には、高齢者の方がより健やかに豊かな生活を送っていただけるよう、新しい支援の型であるユニットケアの特別養護老人ホーム「ゆうあいの郷　衣笠」を横須賀市に開設しています。令和4年には居宅介護支援事業所「ケアプランセンターゆうあい」（横浜市戸塚区）を開設する等、全施設で地域の福祉に大いに貢献しています。  法人のロゴマークは、4つの施設を示す「幸せな４つ葉のクローバー」とし、４つの葉は各施設の「特徴」を示し、茎は利用者を支える「まごころ」という想いを込めています。  ●ゆうあいの郷は、横浜市の最西端に位置する瀬谷区宮沢にあります。瀬谷区は横浜市の中でも緑が多い区であり、その中でも宮沢は特に緑に恵まれた自然豊かな地域です。和泉川に沿う遊歩道の整備や自治会の活動も盛んであり、助け合いの精神が根付いている地域です。ゆうあいの郷は2階建て（３階は屋上とその出入りスペース）であり、４人部屋を中心に、個室と２人部屋での居室構成となっており、プライバシーも比較的守られつつ、他人との交流もしやすく、生活のしやすさがあります。2階は認知症フロアが設けられ、認知症ケアで注目される回廊式の広い廊下により、利用者が徘徊しやすい設計となっています。回廊の真ん中は明かり取りの中庭風となっており、光がふんだんに入り、廊下の幅も広いので、歩行訓練や車椅子の訓練等に活用されています。２人部屋居室は原則、同性で使用しており、４人部屋居室は左右両側に和風の家具と物入で仕切られ、さらにカーテンで自分のエリアが確保されており、落ち着いた雰囲気で過ごせるよう配慮されています。 |

⑤第三者評価の受審状況

|  |  |
| --- | --- |
| 評価実施期間 | 2021年11月03日（契約日）　～  2022年03月24日（評価結果確定日） |
| 受審回数（前回の受審時期） | 初回（年度） |

⑥総評

|  |
| --- |
| ◇特に評価の高い点  １．【食生活の充実】  ゆうあいの郷では、食生活の充実を心がけています。利用者にとって、食生活とレクリエーションは1日の楽しみでもあり特に、食事は一番の楽しみであり、生きる源です。食事は給食委託会社を活用していますが、管理栄養士が在籍しており、委託会社と連携して和食を中心とした献立を提供しています。管理栄養士は、なるべく利用者と一緒に食堂で食事を行い、咀嚼しながらゆっくり食べるよう伝え、傍で見守りを行っています。また、利用者の声を吸い上げ、献立に生かすよう配慮しています。食事は適温の状態で提供し、旬の食材、季節に応じた行事食（月1回）を提供しています。行事食では、秋には「もみじ御膳」等、豪華な食材と季節をイメージした彩り、美味しい季節料理に利用者の笑顔が溢れる楽しい食事となっています。現在は新型コロナウイルス禍（以下、コロナ禍）で中止となっていますが、他にも外食プランやお茶会、鮪の解体ショー等の機会を設け、利用者が豊かな食生活を楽しみ、食の充実が図れるよう取り組んでいます。  ２．【レクリエーションの充実】  ゆうあいの郷では、利用者が余暇を楽しめるよう行事、レクリエーション活動の充実を図っています。年間行事では、お花見、誕生日会、七夕、ゆうあい祭り、クリスマス会、新年会、節分等、季節感のある行事を企画し、レクリエーション活動では書道、折り紙、ぬり絵、カラオケ、編み物、ゲーム等を用意しています。また、地域の方々やボランティアによるイベントでは楽器演奏（和太鼓等）や、コーラス、踊り等を催し、日々の生活に活気を提供し、利用者に楽しんでもらえるよう工夫しています。さらには、職員有志によるクリスマス会の演奏を行う等、アットホームなレクリエーションの展開が成されています。今年は、コロナ禍により自粛気味でしたが、施設敷地内にある農園「ゆうあいふぁーむ」では、職員を中心に季節の野菜を栽培し、春は小松菜、かぶ、秋には里芋やさつま芋の収穫を利用者と一緒に行い、食卓にも供する等、利用者と共に職員も喜び、一人ひとりの生活に寄り添い、温かくゆうあいの郷の生活を彩っています。  ３．【ショートステイ、阿久和地域ケアプラザ等からの情報収集体制】  高齢者施設を必要とする方の情報・ニーズについては、社協等の公的情報に加え、利用者の「生の声」が必要です。地域の情報の入手はなかなか難しいですが、ゆうあいの郷には施設内に併設している短期入所生活介護事業、法人系列の横浜市阿久和地域ケアプラザ（委託）での部門別による事業等からの情報収集体制があります。併設のショートステイの利用者や、ケアプラザの相談に訪れる方々及び、デイサービスの利用者、それに居宅介護事業所に相談に訪れる方たちからの実際の情報を特別養護老人ホームの経営に役立て、より良いサービスに生かせる体制網を有していることは今後に展望が広がります。  ◇改善を求められる点  1.【看取り中断の早期解消】  高齢者施設では看取り介護を実施する体制を整えている施設が増えています。また、自宅での看取りを希望するも、住宅事情や家族事情、回復が見込めないケースや在宅介護での看取りが難しいケースでは、施設での看取りが選ばれています。ゆうあいの郷でも体制を整え、看取りの実績があります。今年度は、コロナ禍の為アフターカンファレンスが開催できませんでしたが、関係者に個別に話を伺い、その内容をまとめる形式でカンファレンスとしました。終末期、看取りの期間も個人差が大きく、進行の阻止が期待できず判断が必要となった場合において、早急な対応ができる医師の確保について、十分な準備と対応の見直しを期待いたします。  ２.【稼働率の向上について】  業務の効率化については、いずれの施設でも苦慮しているところですが、部屋の充足率は重要と言われています。特別養護老人ホームは、終末期まで過ごせる長期入所型で上限スペックを持ち、施設の収入を上限スペックに近づけることが稼働率を高めるということになると思います。そのためにも、空室が1部屋でも出れば充足を考える等、色々な工夫が必要となります。稼働率が低下している場合は、その原因を調査及び分析し、原因を取り除く対策方法を見極めることが重要になると思います。不特定要素のある中、例えば、施設のニーズを得るよう、対象地域の拡大や、地域拠点としての役割作りの為の運営内容の見直しや、気軽に利用しやすいサービスを充実させる等が考えられます。いずれにも具体的な手段の検討を図り、工夫等に期待いたします。 |

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

|  |
| --- |
| 施設名：　特別養護老人ホーム　ゆうあいの郷  ＜評価（自己評価等）に取り組んだ感想＞    今回初めて第三者評価を受け、当施設の良い部分、悪い部分が明確になり、早期に解消しなければならない点、今後の方向性を決定するにあたり大変参考になりました。  良い点は、さらに伸ばすため、職員一丸となり地域1番の介護施設となるよう努力してまいります。  ＜評価後取り組んだ事として＞  ご利用者様に、より良い介護の提供ができるよう努力し、技術力の向上を図るため、介護研修を基礎から全て行うようにしております。  現在コロナ禍のため、創意工夫をしながら行事も行うようにし改善致しております。 |

⑧第三者評価結果

　　別紙２のとおり